

タイトル～「EV（電気自動車）スタンドだらけのまちづくり」

～概要～

現在、日本における電気自動車の普及は諸外国に比べると相当に遅れ気味です。

既に、北欧、中国などは電気自動車に猛スピードで開発、増車に力を入れているのが現状です。また、電気自動車は環境にやさしい、お年寄りにやさしい車です。日本も本腰を入れて発想の転換を図ってもらいたいものです。

また、特に高齢者向けにはシニアカー（車を運転できない高齢者）がこれからも普及度を増すものと思います。これは車道ではなく歩道を通行するもので、バッテリーを使用するものなので家庭にある100Vコンセントで簡単に充電できます。各、町内会の会合（趣味の集まり、カラオケ、将棋、碁、麻雀など）や打ち合わせ等の移動手段としては事故のない最高の乗り物です。

次に街づくりの観点からのポイントを3点述べます。

- ① 地域は限定しませんが、電気自動車だけが走行しているまちづくりを目指します。

今は、ガソリンスタンドが主役ですが、将来はEVスタンドのみの設置。現在、全国にあるガソリンスタンドをEVスタンドに切り換えていくのです。また昨今、ふるさと納税が人気を呼び、その街にふるさと納税として納めれば、例えば、EV購入時には自治体からの補助金（ドライバーが購入しやす値段に）を出していただくような事も必要ではないかと思えます。そうすれば口コミで移住に興味をもち自ずと地域の活性化につながるし人口増に一役生かせるのではないか。

- ② これからは、充電スポットは全国的に更に急増していくものと思えます。コンビニやスーパーマーケット、宿泊施設、高速道路のサービスエリアや道の駅、休憩時間（お食事など）や、お買い物ついでに充電するドライバーをよく見かけます。

スポット数は、現在全国で約2万箇所以上に膨れ上がりました。ガソリンスタンドに匹敵するぐらいとも言われているのです。

- ③ しかし、現実はまだ電気自動車は最高とは言われていないのが実体ですが、充電時間の長さの問題、しかし、最近は自宅での設備設置も簡単になりました。コンセントを家側に設置して、充電用ケーブルを接続すれば安心して充電できます。

～以上～